

データあり

令和6年7月8日

市政記者クラブ 様

東 山 総 合 公 園
担当 動物園 今西・永田
電話 782—2114

コモドオオトカゲを導入します

コモドオオトカゲのオス1頭をシンガポール動物園から導入しますので、お知らせします。
今回の導入で東山動植物園では初めてのコモドオオトカゲの飼育となり、国内で唯一の飼育
展示となります。

記

1 導入するコモドオオトカゲ

- (1) 愛 称 タロウ
- (2) 性 別 オス
- (3) 年 齢 13歳(2011年6月2日 シンガポール動物園生まれ)
- (4) 体 重 約80 kg
- (5) 全 長 約270 cm
- (6) 到着予定日 令和6年7月18日(木)
- (7) 所 有 者 東京都恩賜上野動物園(シンガポール動物園に貸与していたメスの子ども)

2 導入の経緯

コモドオオトカゲの飼育繁殖に取り組むシンガポール動物園が次の繁殖に向けてスペースを確保するため、1頭のオスを当園が導入することになりました。今回の移動は所有権の移動を伴わない借受けです。

3 一般公開日

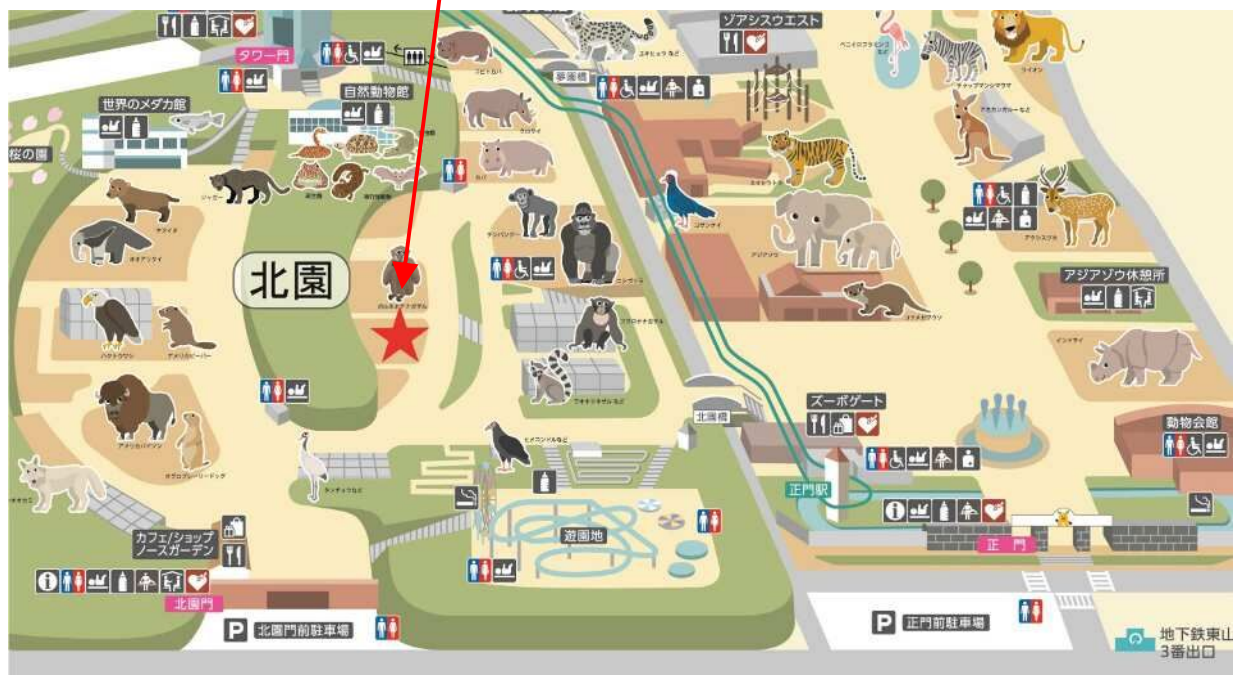
動物の体調等を考慮し、決まり次第改めてお知らせします。

4 取材について

動物搬入時を含め、公開日まで撮影はできませんのでご了承ください。
なお、写真等が必要な場合には東山総合公園管理課までご相談ください。

■ 展示施設

北園旧ゴリラ舎屋内展示室



展示室写真



(参考)

■コモドオオトカゲについて

分布：インドネシア（コモド島、リンチャ島、フローレス島等）

形態：全長最大で 3m 以上、体重 160 kg 以上にもなる世界最大のトカゲ。体色は暗灰色で、頸部や背面では褐色を帯びる個体もある。嗅覚が発達しており、4 km 先の動物の死骸も察知することができる。

生態：落葉樹林やサバンナに生息。幼体は成体からの捕食を避けるため、樹上で過ごす。主にイノシシやシカ、野生化したスイギュウなどの大型哺乳類を食べる。獲物に噛みついた際に、歯の間にある管から溶血毒を注入し、毒によって衰弱した獲物を食べる。生後 5～7 年で繁殖可能となり、一度に 10～30 個の卵を産む。メスはオスと交尾することなく繁殖する、単為生殖を行うことが確認されている。

国際自然保護連合（IUCN）レッドリスト：絶滅危惧種（EN） ワシントン条約：付属書 I



導入するコモドオオトカゲ（タロウ） 令和 6 年 6 月 24 日撮影
写真提供：シンガポール動物園